

Educational Challenge
GDAP(学校ドローン安心プロジェクト)
代表 横地勇輝

目次

- ① 目的
- ② 課題整理
- ③ 支援活動について
- ④ 反省
- ⑤ 今後の方針
- ⑥ 決算報告

目次

- ① 目的
- ② 課題整理
- ③ 支援活動について
- ④ 反省
- ⑤ 今後の方針
- ⑥ 決算報告

目的

本プロジェクトの目的は、学校で使いたくてドローンを買ったけどまだ飛ばすことができていない等の困り感を持った先生方を支援することである。

須坂の高校のF先生との会話

F先生

室内で飛行させることは
多々あるんです。

ドローンの登録が
できてないんですよ

横地

ドローンに対して操作面の不安
は少ないそうですね

多くの不安は法改正
っぽいですね



目的

本プロジェクトの目的は、学校で使いたくてドローンを買ったけどまだ飛ばすことができていない等の困り感を持った先生方を支援することである。



目的

本プロジェクトの目的は、先生がドローンを飛ばす手続きへの不安を払拭し、安心してドローンを飛ばせることとした。

目次

- ① 目的
- ② 課題整理
- ③ 支援活動について
- ④ 反省
- ⑤ 今後の方針
- ⑥ 決算報告

8月～11月にドローンの支援に向けて、ドローンを登録や飛行させることを行った。
困りごとが多々あった。
困りごとを課題とし、まとめた。



課題

- ・ドローン関連に関して、説明するホームページが多すぎることで、中には古い情報が混ざっていること
- ・国土交通省、総務省、警視庁、各県の条例などなどから情報を集めない飛ばせるかわからない

課題

- ・ドローンに関して、説明するホームページが多すぎること、中には古い情報が混ざっていること

多すぎる情報・古い情報に惑わされないことが必要である。
他のホームページで法律を知るのではなく、
国土交通省のホームページ及びDIPSドローン情報基盤
システム2.0の見方や使い方を会得することが大切であると考えた。

支援の指針

法律に関してわかりやすく説明する資料を作るのは国の仕事
飛ばすまでの過程で適宣情報を集めれるようにしていく力をつけるような支援をしていく必要がある。

課題

- ・国土交通省, 総務省, 警視庁, 各県の条例などなどから情報を集めないで飛ばせるかわからない

ドローンを誰からも許可無く飛ばせる場所は室内くらいであると言っても過言ではない。

常にここは飛ばして良い場所であるかを考える必要がある。

支援の指針

安全・安心に配慮することへの意識を高めていけるような支援が望ましい。

支援の指針

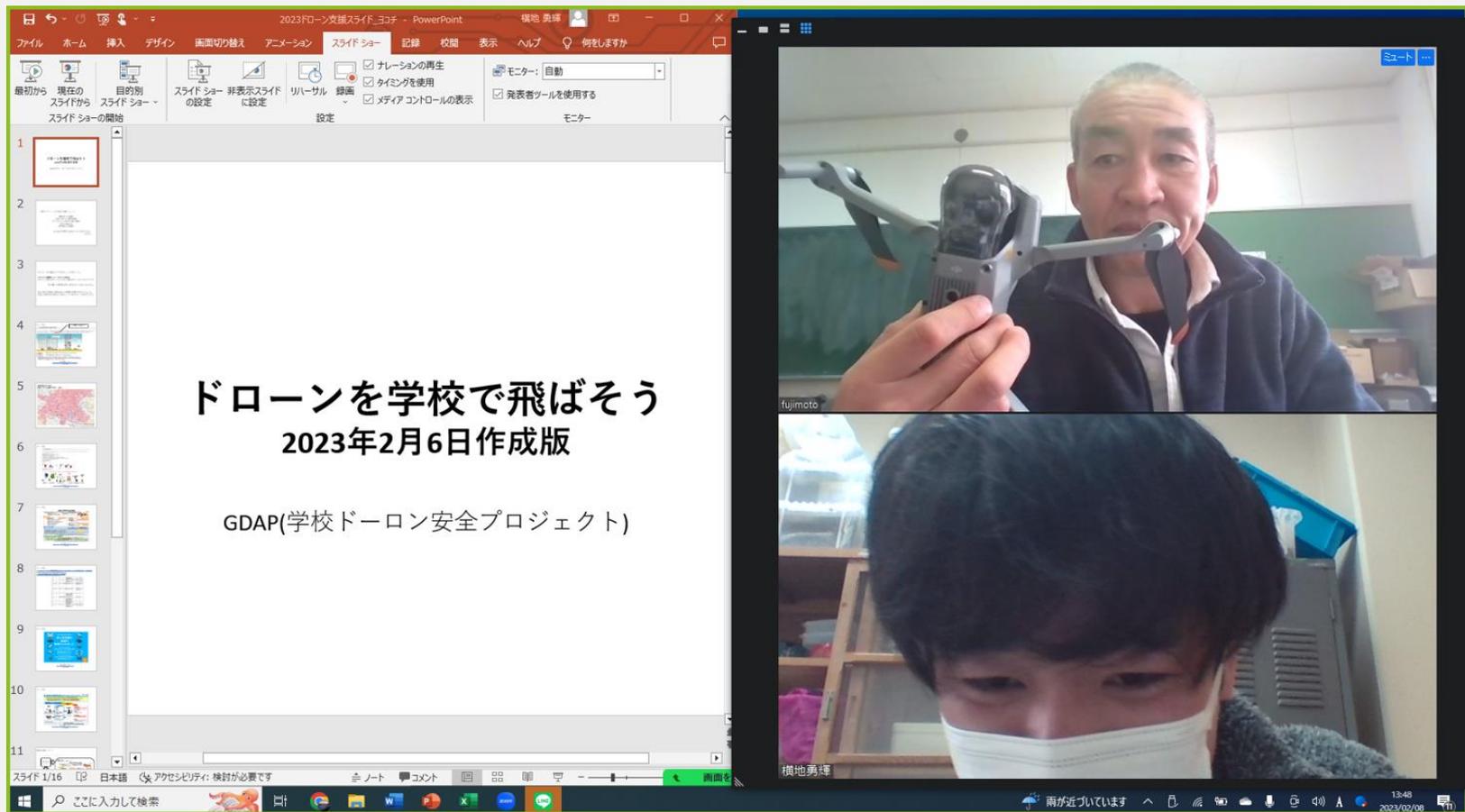
- ・飛ばすまでの過程で適宣情報を集めれるようにしていく力をつけるような支援をしていく必要がある。
- ・また、安全・安心に配慮することへの意識を高めていけるような支援が望ましい。

目次

- ① 目的
- ② 課題整理
- ③ 支援活動について
- ④ 反省
- ⑤ 今後の方針
- ⑥ 決算報告

支援活動について

11月よりメールとZOOMを用いた継続的なオンラインでの相談会や支援を行った。



The image shows a Zoom meeting interface. On the left, a PowerPoint presentation is displayed. The slide content is as follows:

ドローンを学校で飛ばそう
2023年2月6日作成版

GDAP(学校ドローン安全プロジェクト)

On the right side of the Zoom window, two video thumbnails are visible. The top thumbnail shows a man in a dark jacket holding a drone. The bottom thumbnail shows a person wearing a white face mask. The Zoom window title bar indicates the meeting is titled "2023ドローン支援スライド_ヨコチ" and is hosted by "横地 勇輝". The system tray at the bottom shows the date as 2023/02/08 and the time as 13:48.

目次

- ① 目的
- ② 課題整理
- ③ 支援活動について
- ④ 反省
- ⑤ 今後の方針
- ⑥ 決算報告

反省

良かったこと

- ・ZOOMで行ったため全部こちらの指示で行わなかった。
支援される人が自身で進めていくことが出来た。
- ・お互いにどんなことが危なかったかなどの共感できることを話したため、終始和やかに支援することが出来た。

課題

- ・連絡手段が不十分で、連絡が取れない時期があった。
柔軟な支援方法を検討していく必要がある。
- ・資料を作っても半年後くらいには
使えなくなっている可能性がある。

目次

- ① 目的
- ② 課題整理
- ③ 支援活動について
- ④ 反省
- ⑤ 今後の方針
- ⑥ 決算報告

今後の方針

まだ、支援を受ける人がドローンを飛ばすところまで出来ていないため、修了までに飛ばすことができるように支援していきたい。

支援した先生が今度は支援できる側になれるようなコミュニティを作りたい。

目次

- ① 目的
- ② 課題整理
- ③ 支援活動について
- ④ 反省
- ⑤ 今後の方針
- ⑥ 決算報告

決算報告

品名	費用
ドローン DJI mini2	72,715円
ドローン申請料	1,450円
DJI Care Refresh	6,160円
計	80,325円

最後に

本事業を遂行するにあたり, 信州大学教育学部並びに公益社団法人信濃教育会さまには, 多大なるご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。